

規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 六匠	代表者	北村 拓人	法人・事業所の特徴	「一人ひとりの笑顔・思い・願いを大切に安心して暮らせる場所を地域で築きます」「継続的に支え合い助け合うことで、ささいなことや気持ちの変化を見逃さず、心に届くサービスを提供します」を理念としています。「ひもときシート」を活用し、職員全員で利用者の思いや暮らし方の希望、意向を把握できるように努力しています。
事業所名	時間の奏	管理者	内貴 文之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	7人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	2回に1回は運営推進会議後に施設見学の機会を設ける。内容を簡潔にする。	一度、施設見学を行った。	・改善計画を立てた次の会議後に一度施設見学したがそれ以降は、特に行われていない。 一過性になっている。	運営会議後に見学をしていただくようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	普段の事業所を見ていただけるように運営推進会議の後などに見学の機会を設ける。	一度、施設見学を行った。	・事業所はとても居心地よくなっていますが事業所前の道路のでこぼこがひどくなり車への振動が大きくなっています。 ・立地的に河川・道路・JRが通っているので生活騒音は否めない。清掃や除草に気をつけておられる。 ・2か月おきの訪問であるが、毎回、施錠されている。	道路のでこぼこは、早急に埋めます。 引き続き、草引きはしていきます。 施錠は夜間帯のみしていますが、今後、徘徊に出られそうな利用者様がおられるときは、ご家族と市と協議しながら、施錠する可能性があります。
C. 事業所と地域のかかわり	地蔵盆に一度参加してみるイベントに来てもらえないとしても近隣にチラシ配りをしたり挨拶を交わして一人でも多くの住民に認知してもらう	計画はしていたが、職員不足などにより、行えなかった。	子供さんを受け入れる取り組みをしてられるのを先日まで知りませんでした。良い取り組みなのに告知はされていない。	まずは地蔵盆などに参加してみる。フリースペースの事も運営会議資料にのせるようにする。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域のボランティアにたくさん来て頂き、定期的に交流を図る。</p>	<p>ボランティアはたくさん来ていただいています。</p>	<p>外出のアクティビティはマンパワーを要するため容易ではありません。限られた中でも、穏やかに過ごせるように相違工夫してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所として利用者に対する取組みはよいと思います。 ・利用者以外の方に対しては情報がない限り動けないので、しかたないと思います。 	<p>引き続きボランティアにきていただき、交流をはかる。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議の議事録に過去2ヶ月の行事やその他の取組みなどを全て記載し、周知するようにする。 事業所の職員にも会議の内容が分かるよう、また、意見をもらえるように申送りノートに議事録を掲示する。</p>	<p>議事録に行事や取組みを載せています。 運営会議の議事録は職員に周知できていませんでした。</p>	<p>運営推進会議では、事例検討に至ることはないと思われます。困りごとなどを抱えていたら包括にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回からも地域での取組みについて話をしていましたが改善されていません。 	<p>運営会議の議事録を職員にも閲覧できるように、1階フロアにおいて目を通すように周知する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>運営推進会議の議事録の「地域交流」の項目に参加した行事をのせる</p>	<p>参加できた行事は議事録にのせていました。</p>	<p>災害時には何が起こるかわかりませんので、まずは事業所の防災の計画、訓練が大切だと思います。事業所が整ってないと地域との協力や連携がなりたたないのです。</p>	<p>防災計画を見直し、訓練を年2回行う。</p>

